

府中市インフラマネジメント計画新たな施策一覧(歳入) 単位(千円)

施策分類・名称				効果額の試算方法										
大分類	施策名	No.	維持管理施策名	① 経過年数	② 導入経費		③ 歳入の増加額					④ 効果額		
					委託費	合計	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単年度	累計	
インフラ全体管	歳入の確保	①	道路占用料の見直し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

府中市インフラマネジメント計画新たな施策一覧(歳出) 単位(千円)

施策分類・名称				試算方法																					
大分類	施策名	No.	維持管理施策名	① 経過年数	② 実施経費												③ 効果額								
					平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			累計			単年度			累計		
					委託費	その他	合計	委託費	その他	合計	委託費	その他	合計	委託費	その他	合計	委託費	その他	合計	委託費	その他	合計	委託費	その他	合計
インフラ管理全体	集約化・合同化による効率化	②	道路の廃止	2	-	-	-	-	-	-	175	-	175	138	-	138	313	-	313	-	-	-	-	-	-
		③	法定外公共物の払い下げ	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	123,880
補修更新	ライフサイクルを通過した	④	街路灯(リース)	3	-	-	-	-	2,460	2,460	-	2,460	2,460	-	2,460	2,460	-	7,380	7,380	-	-	-	3,136	-	3,136
		⑤	街路灯・公園灯(ESCO事業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計				-	-	-	-	-	2,460	2,460	175	2,460	2,635	138	2,460	2,598	313	7,380	7,693	-	-	-	3,136	123,880	127,016

府中市インフラマネジメント計画新たな施策一覧(その他)

施策分類・名称			
大分類	施策名	No.	維持管理施策名
インフラ全体管	啓発活動	⑥	市民意識の改革
インフラマネジメントの周知を目的とした施策のため効果額は見込まない。			
総計			

府中市インフラマネジメント計画
新たな施策（案）

インフラ管理全体

施策名：歳入の確保

取組み名：① 道路占用料の見直し

1 背景

近年、土地の評価額が高い近隣市において、各市の固定資産評価額を用いた算定方法により、地域の実情に合った占用料を設定する動きが進められている。そのため本市においても、受益者負担の適正化を図るため、本市の実情に合った占用料へ改定する必要がある。

2 目標

本市の道路占用料については、多摩地域の市部全域における都道の占用料を参考としていたが、見直しをすることで、5年間の経過措置以降は年間5000万円程度の歳入増加を見込んでいる。

3 現状と方向性

平成30年4月より、運用を開始する。

インフラ管理全体

施策名：集約化・合同化による効率化

取組み名：② 道路の廃止

1 背景

公共の用途に供さなくなった市道について、活用する手法を検討する必要がある。

2 目標

対象となる市道があれば、その都度検討し、必要に応じて廃止を行うことで、土地の有効的な利活用を推進する。

3 現状と方向性

平成27年度に3路線、平成28年度に1路線、不要と判断した認定市道の廃止を行い、土地の有効的な利活用を推進している。今後も必要に応じて検討を行う。なお、廃止にあたっては建築基準法等の関係法令に抵触しないか事前協議を行う。

4 実績

	金額 (円)		備考
費用	初期コスト	313,650	平成27・28年度委託（調査、図書作成） 該当部分
	経常コスト	—	—
	累計	313,650	—
実績	平成27年	市道6-138号	府中市告示第127号（36m）
		市道1-119号	府中市告示第128号（17m）
		市道5-185号	府中市告示第128号（20m）
	平成28年	市道4-53号	府中市告示第134号（60m）

インフラ管理全体

施策名：集約化・合同化による効率化

取組み名：③ 法定外公共物の払下げ・付替交換

1 背景

市が所有している里道（赤道）や水路などの法定外公共物について、利用形態がない場合は、隣接土地所有者に払下げ、付替交換を行い、管理にかかる経費を削減させる。

2 目標

今後は、積極的に払下げ、付替交換を行う。

3 現状と方向性

前計画を策定する前から、払下げ、付替交換は行っていたが、計画の施策に位置づけていなかったため、現在予定しているインフラマネジメント計画の改定から、新たな施策として位置づける。維持管理費の軽減、売却による歳入が見込めるため引き続き実施する。平成29年度から払下げの営業を行う。

4 実績

	金額（円）		備考
費用	初期コスト	—	—
	経常コスト	—	—
	累計	—	—
実績	平成25年	25,648,352	172.24㎡（払下げ） 65.14㎡（交換）
	平成26年	23,518,810	172.07㎡（払下げ） 171.44㎡（交換）
	平成27年	8,837,040	77.50㎡（払下げ） 100.08㎡（交換）
	平成28年	65,875,380	520.60㎡（払下げ） 104.61㎡（交換）
金額	累計	123,879,582	平成24年度～28年度

補修更新

施策名：ライフサイクルを通じた効率化

取組み名：④ 街路灯（リース）

1 背景

インフラのライフサイクルコストを低減させるため、施設の修繕や更新の計画を策定する際には、時期や整備内容等について最も適した方法を導入する。

2 目標

現状で十分に整備されているものとし、削減や増設をしない想定で予測をする。街路灯の補修更新費の予測では、安全に機能する範囲で工事や補修を行うことを前提とする。なお、試算では、委託実績よりランプ交換、自動点滅器及び安定器の交換費用を見込み、検討により経費削減効果が認められる場合には、電球のLED化を進める。

3 現状と方向性

平成26年度から平和通りでリース事業のLED化を試行し、照度や光の見え方・電気料金・施工などを検証してきた。現在までの検証では、LED照明の容量や既存の柱との取り付けなどの調整が必要となるが、照度や光の見え方に支障は無く、電気料金も従来に比べ6割から7割の削減効果が確認できていることから、LED照明の導入については支障ないものと分かった。

今後、ESCO事業を長期にわたり導入することで、効果を検証する。

4 実績

	金額（円）		備考
費用	初期コスト	7,379,424	初期コスト
	経常コスト	—	—
	累計	7,379,424	—
実績	単年度	1,045,467	3年間の導入前後の電気料金の差額の平均額
	累計	3,136,401	—

補修更新

施策名：ライフサイクルを通じた効率化

取組み名：⑤ 街路灯・公園灯（ESCO事業）

1 背景

インフラのライフサイクルコストを低減させるため、施設の修繕や更新の計画を策定する際には、時期や整備内容等について最も適した方法を導入する。

2 現行計画の目標

前計画での取り組みの位置づけは無い。

3 現状と方向性

平成26年度から平和通りでリース事業のLED化を試行し、照度や光の見え方・電気料金・施工など、市全域におけるLED照明の導入について検証してきた。この検証を受けて、ESCO事業により、市全域にLED照明を導入し、コストの削減を行う。

平成29年度から募集開始、平成30年度8月から維持管理業務開始予定。電気料金に効果が左右されるが、平成28年度の電気料金で効果を算出すると、年間3500万円程度の削減を見込んでいる。

啓発活動

取組み名：⑥ 市民意識の改革

1 背景

本市は高度経済成長期において、多くのインフラを整備してきた。また、そのインフラの維持管理・補修更新は、公営事業により資金が潤沢だったため、全て市が負担してきた経緯がある。しかし、社会情勢が変化したことに伴い、従前の方法による維持管理・補修更新はできなくなった。そのため、本来の形である市民との協働による、インフラの維持管理を推進するために取組みを実施する。

2 目標

府中市インフラマネジメントの内容を周知し、府中市の現状を市民に理解してもらう。

3 現状と方向性

広報、ホームページで周知を行っているが、内容を知っている市民はごく少数である。今後は、多くの市民に知ってもらうための手法を検討・実施していく。